

## 資料 1

### 石狩市浜益保養センターの営業時間変更について

【会 議 名】 平成20年度第6回石狩市浜益区地域協議会

【開催日時】 平成20年11月19日(水) 13時30分～

【開催場所】 石狩市浜益支所庁議室(2F)

石狩市企画経済部商工労働観光課

パブリックコメント「石狩市保養センター条例の一部改正について」及び意見交換会「石狩市浜益保養センターの経営について」  
における意見の検討結果

平成20年11月  
企画経済部商工労働観光課

<意見の対応>  
採 用: 意見に基づき素案を修正するもの  
不 採 用: 意見を素案に反映しないもの  
参 考: 検討原案に盛り込めなかったが今後参考にするもの  
実 施 済: すでに実施しているもの

意見交換会：平成20年10月8日（水）会場 浜益コミュニティセンター（きらり）18時～19時30分

パブリックコメント実施期間：平成20年10月1日（水）から平成20年10月31日（金）まで

付きはパブリックコメントでの意見

	意見等の要旨	検討結果	左の理由
営業時間に関すること			
	浜益温泉の立地条件から考えると秋・冬の終了時間は午後6時でも午後5時でも良いのでは。	不採用	<p>保養センターの現在の経営状況は、7・8月は月約100万円の収益がありますが、10月から4月までは毎月100万円以上の赤字となります。今回の開館時間変更は、入館者が減少して営業赤字が大きくなる10月から4月の期間（月曜日を除く）、1日の中でも入館者が比較的少ない午前中の営業をカットし、午後1時から午後8時までの営業としようとするものです。</p> <p>一般的な勤労者が勤務後に利用することを考えると、秋冬でも終了時刻を現行の午後8時より早くすることはかえって利用者減少・収支悪化につながるおそれ大きいと判断します。</p> <p>紅葉シーズンの10月から冬にかけては、上述のとおり、営業赤字がかさんでおり、温泉の経営を少しでも好転させるためには営業時間の短縮が不可欠となっています。</p> <p>上述のとおり、夏は現在の営業時間で収益が上がっており、これを短縮するとかえって経営に悪影響が生じる危険があると思われます。</p>
	営業開始時間は、紅葉シーズンは9時、冬は遅くても10時くらいが良いのでは。	不採用	
3	夏場も閉館時間は午後8時でよいのでは。	不採用	
4	5月～9月の開館時間は午前11時または午前12時で良いのでは。	不採用	
	7月及び8月は少しでも入館者数を増やすことができる。1時間の開館時間延長をしては。	参考	
6	冬期間、高齢者サービスは従来どおり月曜日の午前10時から実施すると考えているようだが、経費節減という点であれば午後1時からで統一して良いのではないか。	不採用	

7	夏場午後8時までの営業時間を短縮するのは絶対に止めてほしい。海水浴客が入浴を断られた現状がある。	採用	夏場の営業時間は従前通り午後9時までとしていますので、午後8時までという短縮は行いません。
経営に関すること			
	温泉従業員の接客マナー向上をお願いする。	参考	接客の対応については、指定管理者が以前から朝礼等で従業員の意識を高めるよう指導していますが、今後、更に指導を徹底するよう指定管理者に注意を促します。
9	温泉横のパークゴルフ場は維持管理費がかかるので有料化にしては。	不採用	温泉横のパークゴルフ場は9ホールが2箇所の18ホールですが、仮に有料化すると管理人の配置費用などが必要となり、収支改善の効果は極めて小さいと考えています。
	備え付けのシャンプーを廃止してもよいのでは。窓口で有料販売を行っては。	不採用	夏場の収益源となっている観光客は遠方から手ぶらで来館する方が多いこと、現在の入館料(500円)はシャンプー類を置いていない一般の公衆浴場(420円)より高いことから、廃止は効果的ではないと考えています。
	日没から夜にかけて温泉玄関前と露天風呂に集まる蛾が多い。天候の状況によって、部分的に消灯を早くする等の考慮を徹底されたい。	実施済	8月から9月の期間は同様の対策を取っています。また消灯にあたり、館内に張り紙をして利用者に足下の注意を促しています。他の期間についても同様なことがあれば注意していきたいと考えています。
12	南北に分けて行っているバスの運行を一本にしては。	不採用	高齢者入浴サービスのバスを一本化すると、運行距離短縮による若干のバス経費削減は可能と思われませんが、半面、2時間以上も乗車しなければならない方も出てくるため、高齢者の疲労負担が大きくなり、福祉サービスとしての意義が大きく損なわれることから、実施は適当でないと判断します。
13	温泉のPRが少ない。以前は海水浴でPRしていたが、最近は全然行ってない。もっと積極的にPRをすべき。	採用	保養センターのPRはこれまでも市ホームページや旅行雑誌への記事掲載、厚田や浜益の漁港朝市での割引券配布、林道ウォーク&マラソン参加者への無料券配布などを実施してきましたが、今後はご意見のように海水浴場、温泉施設内などでも積極的にPRしていきます。
	温泉内の放送施設を有効活用して温泉PRを徹底されたい。例えばりんご風呂の入浴サービスは張り紙だけでなく場内放送で入館者に周知するなどの温泉PRが不足していると感じる。	採用	
15	近隣の特別養護老人ホームでも同じ源泉を使用しているが、温泉経費を負担すべきである。	参考	特別養護老人ホームと費用を按分する場合でも、按分対象となるのはポンプ電気料だけであり、経営改善への影響はきわめて軽微ですが、来年度から両施設は同一の指定管理者が経営する予定ですので、指定管理者の意見も聞きながら検討します。
16	有料の休憩室を無料で開放した方がよいのでは。	参考	有料休憩室の利用件数は低い現状にありますが、団体客の受け入れのためには有料休憩室をある程度確保することも必要と考えております。しかし収支改善のために無料開放が有効であれば、指定管理者の判断により料金を免除することも可能ですので、今後指定管理者とともに検討します。

17	入浴者が少ない時間帯は料金を値下げしても良いのでは。例えば、札幌市屯田地区の銭湯は早い時間帯に料金値下げをしている。	参考	閑散期の入館者は会員券を利用する地元住民が主であるため、値下げで入館者が増える可能性は低いと思われますが、収支改善のために値下げが有効であれば、指定管理者の判断により実施することは可能ですので、このことを指定管理者に十分検討してもらいます。
18	露天風呂はやめたほうが良いのでは。	不採用	本施設は山あいであり、緑に囲まれながらの露天風呂の入浴は心身の疲れを癒し、リフレッシュ効果があります。北海道立地質研究所が平成18～19年に実施したアンケート調査でも露天風呂のニーズは高いため、これを廃止することは利用客のさらなる減少を招くおそれがあることから、今後も続けていきたいと考えております。
19	露天風呂を小さくしたほうが良いのでは。大きすぎて経費がかかるのでは。	参考	ご意見は露天風呂で使用する湯量の削減につながることから、今後、その経費節減効果について現状と比較検討し、効果が確認された場合には実施してまいります。
	露天風呂の深い部分に仕切りを入れて、使わないようにしては。西側だけだと入り込みが多いときに腰を下ろして浸かることができない。浴槽内の東側に腰掛部分を設けては。	参考	
21	冬場の従業員を削減しては。例えば増毛町の岩尾温泉は一人の従業員が受付も清掃も兼務している。	採用	岩尾温泉とは施設規模が違うため比較は難しいですが、適切に安全管理が図れる範囲で従業員数の適正化を進めることは必要です。今回の変更で閉館時間が短縮される10月～翌年4月の期間は、従業員数の縮減を前提として委託料を積算します。
22	排水の熱利用で花や野菜を作って売ることは。	参考	保養センターの収支改善のためにはさまざまな方策が考えられますが、ご意見のような取り組みについても、今後、指定管理者とともにその費用対効果などを検討します。
23	利用者が浜益温泉の良さをどう感じるかについての実態調査を行い、それを基に説明会を開催すべき。	参考	出来る限りのデータを収集して説明会を開催しましたが、今後も更に精度を高めるため十分な時間をかけて引き続き利用者の意識調査を行い、業務改善を重ねていきたいと考えております。